

令和6年10月11日 開催 市民活動支援補助金(二次募集分・ジャンプ補助金) 審査結果

補助金種別	ジャンプ	
団体名	体験学習クラブ さ〜くる	
事業名	“オモイ”を“カタチ”に☆プロジェクト	
事業概要	普段は主に大学生を中心としたボランティアリーダーが活動を企画(野外活動など)し障害の有無関わらず会員の子どもたちが年間を通して体験活動に参加している。今回は来年度の20周年に向けたキックオフとして普段企画には携わらない子どもたちが自身のやりたいこと・アイデア(オモイ)を立案、企画、実行していく(カタチにする)ことで、「次代のリーダー」を育てていく。今回はデイキャンプ、宿泊キャンプの2つの企画を実施するとともに、会員の子どもたち以外にも広く参加者を募り、団体のPRを図る。	
事業費総額	1,089,800円	
補助申請額	389,000円	
補助予定額	389,000円	
審査項目	配点	各審査項目における平均点
1	事業の必要性 10点	7.6点
2	事業の実現性 10点	7.6点
3	事業の普及性及び波及効果 10点	6.4点
4	事業の継続性及び発展性 5点	3.0点
5	事業の独自性 5点	3.2点
4	事業への熱意 10点	7.2点
合計点	35.0点/50点満点	
得点率	70.0%	
審査結果	採 択	
審査会コメント	<p>本団体は設立から約20年にわたり継続して生きづらさを抱える多くの子どもたちの居場所作りを行ってきた点については評価できる。</p> <p>今回申請のあった事業については、本団体の会員である子どもたちあるいはその保護者(メンバー)が自分たちのやりたいこと(オモイ)を実際に企画していく(カタチ)にすることで、メンバーの成功体験に繋げること、またメンバーのみにとどまらず、参加者を新たに外部から広く募集することで活動の拡大を図ろうとするものである。プレゼンテーション審査の質疑応答において、この事業が天候などで計画通りに履行できなかった場合の対応やデイキャンプのプログラムの詳細、団体の活動の周知に係る手法などについて、未確定な部分があったことに加え、本事業のポイントであるメンバーによる企画についても、もっと多くのメンバーを企画の様々なプロセスに関わらせる必要があると感じている。</p> <p>市民活動支援補助金は公金による補助であり、特にジャンプ補助金は団体の活動の拡大を目的として設立している補助制度であることから補助金を活用する意味を考え、団体においては今一度、事業の詳細について数多くのメンバーを含めた団体の会員の参画を経て、本事業を進める必要がある。そのため、来年度に行われる事業報告においては、天候不順などで当初の計画によるプログラムが履行できなかった場合の対応や、デイキャンプ等の本事業のプログラムを企画・運営する際にメンバーがどれくらい関わったか、外部への広報についてどのような工夫を行ったかなど、今回の審査において質疑のあった事項について、改めて丁寧かつ明確な説明に努めながら、成果の報告を行ってほしい。</p> <p>本事業をとおしてメンバーが成長し、ボランティアリーダーを志したり、活動を広報することで新しいメンバーが増えるなど、本事業が団体の活動によりよい効果をもたらしていくことを期待したい。</p>	